

まちづくり交付金 事後評価シート
勝田地区

平成20年12月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	勝田地区		面積	149 ha				
交付期間	平成16年度から同20年度		事後評価実施時期	平成20年4月～平成21年3月		交付対象事業費	5,251 百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路【市営勝田住宅内歩道整備】、地域生活基盤施設【勝田地区（歩道・広場・案内板）整備】、高次都市施設【勝田地区集会所整備】、公営住宅等整備【市営勝田住宅住戸改善事業】											
		提案事業	事業活用調査【支え合い活動拠点活用推進事業】、まちづくり活動推進事業【まちのルール普及啓発事業】											
	当初計画から削除した事業	事業名												
		削除/追加の理由												
		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響												
新たに追加した事業	基幹事業	公園【茅ヶ崎城址公園他1公園整備】		歴史的資源を活用しネットワークづくりを一層促進するため				指標を追加（指標4）した。						
	提案事業	なし												
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	平成 年度～平成 年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
	指標1	バリアフリー化された住宅の認識度	比率	1.0	H16	1.2	H20	モニタリング	評価値	1.2	○	あり なし	住戸改善事業や歩道整備によるバリアフリーの具体事例により認識度が高まった。	H21年6月
	指標2	歩専道の整備率	%	78%	H16	100%	H20			100%	○	あり なし	歩道整備が順調に進んでいる。	H21年6月
	指標3	地域交流の場となる広場等の整備	比率	1.0 (807回/年)	H15	1.3	H20			1.3	○	あり なし	評価値は集会所を増設した他団地の例から推定したが、見込み通り十分達成出来る見通しである。	H22年6月
	指標4	歴史資源の認知度	比率	1.0	H16	1.2	H20			1.5	○	あり なし	茅ヶ崎城址公園整備により、歩道ネットワークを通じた歴史資源利用者が増えた。	H22年5月
	指標5											あり なし		
3)その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	住戸改善事業を通して居住者で組織された住戸改善検討委員会等が定期的に活動し、住民同士の地域コミュニティが活性化した。													
5)実施過程の評価	実施内容											今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
勝田地区

平成23年2月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	バリアフリー化された住宅の認識度	割合	1.0	1.2	1.2	確定 見込み ●	○	あり なし	1.2	H22年8月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	全面的住戸改善事業は間取り変更への不満の声が一部にあるが、全体的に住民から好感を持って迎えられている。
指標2	歩専道整備率	%	78%	100%	96%	確定 見込み ●	△	あり ● なし	100%	H22年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住戸改善事業と同時・一体的に整備した歩専道は、団地再生として、また高齢化対応としても効果を発揮しつつある。
指標3	地域交流の場となる広場等の整備	割合	1.0 (807回/年)	1.3	1.3	確定 見込み ●	○	あり なし	1.0	H22年3月	×	予想以上に利用回数が減少した。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	第二集会所建替工事(22年度)及び第三集会所改修工事(23年度に予定)の竣工により、利用は増加すると思われる。
指標4	歴史資源の認知度	割合	1.0	1.2	1.5	確定 見込み ●	○	あり なし	5.4	H22年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歴史資源のネットワークが計画以上に効果的に発揮されている。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市営住宅の適正管理	経常的な維持管理業務	適正な状態に保たれている。	引き続き適正な維持管理業務の推進
	団地内歩専道、歩道の適正管理	経常的な維持管理業務	適正な状態に保たれている。	引き続き適正な維持管理業務の推進
	公園の適正管理	経常的な維持管理業務	適正な状態に保たれている。	引き続き適正な維持管理業務の推進
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	引き続き未済住戸の住戸改善事業を進める。	未済住戸の住戸改善事業を実施した。	22年度末見込みで50戸の未済住戸を残す のみとなった。	未済50戸の住戸改善事業の実施

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

かちだ
勝田地区

かながわ よこはま
神奈川県 横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が快適に生活できるバリアフリー化した市営住宅へ全面的な改善を行う。 ・市営住宅整備に合わせ周辺住民も利用できる集会所や広場を整備する。 ・市営住宅と集会所、広場をネットする歩行者空間を整備する。歩行者空間は、老人も歩きやすいようにバリアフリー化する。 ・市営住宅内及び周辺地域から公園にネットする快適な歩道空間を整備し、地区の主要な街路として道路状況を改善する。 ・地区内をネットする歩行者空間の整備を行う。また、必要な案内サインを設置する。 ・公園の整備を行う。 	<p>(基幹事業)勝田住戸改善事業(公営住宅ストック総合改善事業) (基幹事業)勝田地区集会所整備事業(高次都市施設事業) (基幹事業)勝田地区(歩道・広場・案内板)整備事業(地域生活基盤施設事業) (基幹事業)勝田住宅内歩道整備事業(道路事業)</p> <p>(基幹事業)茅ヶ崎城趾公園他1公園整備事業(公園事業)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーなど、高齢者が住みやすいまちづくり(既存団地の再生)の仕組みやルールについて、広く地域住民が理解することが出来るよう、パネル展示等を実施する。 	<p>(提案事業)まちのルール普及啓発事業</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の建て替えと併行して、狭あい道路の拡幅整備を促進する。 ・高齢者が快適に生活できるバリアフリー化した市営住宅へ全面的な改善を行う。 ・区民・団体・区役所・区社会福祉協議会などが力を合わせて、地域で支えあえる関係を構築する。 	<p>(関連事業)狭あい道路拡幅整備事業 (関連事業)勝田住戸改善事業(公営住宅ストック総合改善事業)(21号棟のみ) (関連事業)都筑区地域福祉保健計画</p>

その他

